

## 第 27 回プラズマ技術委員会議事録

日時：2006 年 5 月 26(金)12：00～13：30

場所：武蔵工業大学 1 号館 3 階応接室

出席者：小野（茂）委員長（武蔵工大）、行村副委員長（同志社大）、田中委員（日立製作所）、  
八田委員（高知工大）、池畑幹事（茨城大）、小野（靖）幹事（東大）

配布資料：

- PST27-1 第 26 回プラズマ技術委員会議事録(案)
- PST27-2 第 68 回基礎材料共通部門研究調査運営委員会議事録
- PST27-3 幹事団役割分担
- PST27-4 プラズマ・パルスパワー合同研究会
- PST27-5 第 1 回メタルスパッタプラズマ高度化調査専門委員会
- PST27-6 第 2 回メタルスパッタプラズマ高度化調査専門委員会
- PST27-7 電気学会ホームページ運用要項
- PST27-8 英語論文特集号「大気圧プラズマとその応用」

議事：

- 1．26 回プラズマ技術委員会議事録を配布資料 PST27-1 により確認し、軽微な修正（神野教授を助教授に変更）の上、承認された。電気学会プラズマ関係の編集委員は秋津教授（山梨大学）となったことが報告された。
- 2．配布資料 PST27-2 に基づいて、小野（茂）委員長より、報告があった。共通英文誌の印刷・配布業務を Wiley & Sons に委託することになった点、活動資金申請を適宜行う点、A 部門誌の編修長制、電子化の進展状況について報告があった。
- 3．昨年度のプラズマ技術委員会の活動資金 4 万円強の使用について、小野（茂）委員長より、報告があった。今後の活動資金管理は池畑幹事をお願いすることになった。
- 4．堤井幹事補佐が来年 3 月まで長期不在になるため、この期間の対応について議論を行った。議事録は、池畑幹事、小野幹事が担当し、ホームページは堤井幹事補が戻られるまで八田委員が担当することになった。
- 5．配布資料 PST27-4 にしたがって、小野（茂）委員長より、プラズマ研究会の今後の予定が議論された。8 月 7-8 日ハワイ・カウアイ島でパルスパワーとの合同研究会、11 月 9-10 日愛媛大学、1 月金沢でプラズマ研究会を行う予定が示された。その後のプラズマ研究会は、来年夏から秋に北海道開催を考え、室蘭工大佐藤委員をお願いすることになった。その他の開催として、関西地区開催を行村副委員長、原研ないし東京における開催を小野（靖）幹事とが担当することになった。次の技術委員会は 11 月 10 日（金）昼に愛媛大学で開催し、それまでの間はメール審議で行うことになった。

6．小野（茂）委員長より，配布資料 PST27-8 に基づいて英語論文特集号「大気圧プラズマとその応用」について現在、6 件の投稿が期待できるとの現状報告があった。また、件数が少ないので、行村副委員長、八田委員、小野（靖）幹事がそれぞれ 1 件ずつ追加することになった。小野委員については大気圧ではないものの、許容する方向で議論を行った。

#### 7．その他

次回委員会は平成 18 年 11 月に愛媛大学で開催することになった。

以上